

ARS

新潟工業短期大学後援会誌

アルス 2018.9
第62号

アルス(ARS)とはラテン語で、ARTの源である。つまり、熟練、技術、学術、芸術、知識、学、原理…といったような意味をもつ。新潟工業短期大学を設置する学校法人は新潟科学技術学園と称すが、そこにいう「技術」の源流はまさしくアルスに求められなければならない。本学は単なる技術屋の養成ではなく、技術と知識と心が一体となって、アルスの領域にまで高められるそういった人間を生み出そうと指向している。



＝ご挨拶＝



新潟工業短期大学後援会
会長 西村 俊男
(文信堂書店 会長)

平成30年度後援会会長を務めさせていただきました西村でございます。

後援会員の皆様には、日頃から本会の活動に対してご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本会では、新潟工業短期大学の教育目的を達成し、その発展に寄与することを目的に、在学生の保護者の皆様をはじめ、教職員や本会の趣旨に賛同する方々のお力添えにより、各種の後援事業を行っております。学生の皆さんにとって、勉学に励むことはもちろんですが、課外活動や学友会活動を積極的

に行うことは、正課の授業だけでは得られないものを補うという点からも非常に大切なことです。本会は、積極的かつ効果的な後援事業により学生が充実した大学生活を送れるよう、今後とも大学と連携しながら取り組んでまいりますので、皆様にはこれまでと同様にご指導・ご支援くださいますようお願い申し上げます。

＝ご挨拶＝



新潟工業短期大学学長
長谷川 富市
(後援会顧問)

後援会の皆様ご健勝にお過ごしでしょうか。学年始めから4か月が過ぎ、新入生も学生生活が軌道に乗り期末試験に向かって励んでおります。さて、本学の昨年度卒業生の自動車整備士国家試験合格率は、2級ガソリン98.6(88.2)％、同ジーゼル100(91.9)％、1級小型66.7(23.1)％(括弧内数字は全国平均)で全て全国平均を上回りました。また、就職率は4年連続で100%でした。これは学生諸君の熱心な取組と先生方の愛情と情熱ある教育の成果であると思っております。留学生も11名

が在学し、日本人学生に混じって元気で勉学に励んでおります。昨年度は電子制御コースが初めての卒業生を社会に送り出し自動車技術コース共々順調に新年度を迎えております。後援会におかれましては、本年度も、キャリア形成のための工場見学、学友会活動・部活動・その他課外活動、国家資格取得、等にご支援を戴くこととなっております。ここに深く感謝致しますとともに今後ともご支援の程宜しくお願い申し上げます。

平成30年度後援会役員名簿 (敬称略)

会 長	西村 俊男	賛助会員 (株)文信堂書店 会長
副会長	五十嵐 紀子	父母会員
2年生評議員	五十嵐 紀子	父母会員
	菊田 和美	父母会員
1年生評議員	鎌田 元	父母会員
	古山 和彦	父母会員
監 事	石黒 健一	賛助会員 (株)ニイガタ文具 社長
	高野 剛	教 授
幹事長	鈴木 真人	教 授
幹 事	川崎 信隆	講 師
	太田 卓馬	事務長
顧 問	長谷川 富市	学 長

TEACHER

教員紹介

今回自己紹介する教員は、勤続29年目の鈴木真人教授です。

こんにちは、鈴木です。平成2年3月に新潟大学大学院自然科学研究科博士課程を修了(学術博士)し、4月から自動車工業科講師として勤務しました。平成3年に助教授、平成21年に教授になり、現在に至ります。大学では機械工学を学び、今は専門科目の力学やシャシ構造について講義をしています。基本的に学生に何かを教えることが楽しくて好きなのですが、教務委員長を担当するようになってからは、学生に「何を教えたか」よりも学生が「何ができるようになったか」を重視するようになりました。趣味はバイクに乗って走りまわることです。愛車は写真のHONDA CBR-125Rです。



2年生へ 自動車技術コース 二級自動車整備士資格合格にむけて

二級自動車整備士国家試験はガソリンとジーゼルそれぞれに学科試験と実技試験があります。実技試験免除となる整備技術講習は、卒業見込みの方を対象に卒業の半年前から行われるため、後期授業開始前から始まり、ガソリンとジーゼルの2つが行われます。今年度も後期の授業スタート前の9月18日から技術講習が始まります。国家試験対策の模試期間を含めると、3月22日迄の半年間となりますので、怪我や病気に十分注意され、整備士資格を取得せずに就職することのないよう、後期は明確な目標を持って取り組んでいただきたいと思います。

〈国試対策委員会〉

昨年度の整備技術講習修了率
ガソリン97.2% ジーゼル98.0%

学科試験の合格率
ガソリン98.6% ジーゼル100.0%

〈整備技術講習〉
ガソリン：9/18(火)～12/1(土)
ジーゼル：12/5(水)～2/8(金)

〈国家試験学科試験対策 模試期間〉
ガソリン：12月中旬～3/22(金)
ジーゼル：2月上旬～3/22(金)

〈国家試験(学科)〉
試験日：平成31年3月24日(日)
(会場：新潟工業短期大学・2号棟)

1年生へ 進路確定にむけて

短期大学では、2年に進級するとすぐに就職活動が本格化するため、今から進路の目標を定め、意識を高めて自立する準備を始めることが重要です。近年の進路確定率は、おかげさまで4年連続100%を達成することが出来ました。しかし、油断は禁物です。就職においては、成績は勿論のこと、企業が求める『学生と社会人の違い』、『あたりまえの常識』、挨拶・礼儀・言葉づかいなど、日常生活における保護者の皆様からアドバイスがとても大切です。ぜひ、ご協力をお願いいたします。また、進学では、本学には一級自動車整備士資格の取得が可能な2年制の専攻科があります。資格取得には途切れない学習が効果的です。ぜひ、ご検討ください。広報・就職支援センターではこれからも全学生が進路確定できるよう産学連携室とも協力しながら進路指導を行って参りますので、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

〈広報・就職支援センター〉

電子制御コース 電子制御関連の国家技能検定について

電子制御コースでは、機械保全技能士(電気系保全作業)と電気機器組立て技能士(シーケンス制御作業)の取得を目指して学習しています。昨年度の合格率は機械保全が62.5%、電気機器組立てが83.3%で、コース学生の87.5%がいずれかの資格を取得して卒業しています。今年度の技能検定は、すでに機械保全技能士試験が7月上旬に実施されました。電気機器組立て技能士試験は1～2月に実施されます。後期には、資格関連授業に加えて、実技試験対策の特別講習も開始します。しっかりした技能を身につけていただきたいと思います。

〈電子制御コース主任〉

SCHEDULE

平成30年度 行事

- 4/6～4/9 ●入学式・オリエンテーション
- 4/9 ●工場見学(スバル)(1年)
- 4/10～7/30 ●前期授業
- 4/26 ●交通安全講習会(1年)
- 6/13 ●自動車技術セミナー(日産自動車)(1年)
- 6/14 ●創立記念日
- 6/15 ●自動車技術セミナー(マツダ)(1年)
- 6/17 ●中古自動車査定士試験(2年)
- 6/19 ●トムス・セミナー(1年)
- 6/28 ●NGKプラグ講習会(2年)
- 6/30、7/1 ●3級機械保全技能検定 試験(2年・電子制御コース)
- 7/25 ●消費生活啓発講習会(1年)
- 7/31～8/6 ●前期定期試験
- 8/7～9/24 ●夏季休業
- 8/28～8/30 ●損害保険募集人資格講習&試験(2年)
- 9/11、12 ●ガス溶接技能講習会(1年)
- 9/18～ ●二級自動車整備士技能講習会(2年・自動車技術コース)
- 9/25～1/24 ●後期授業
- 10/20 ●流麗祭(学園祭)
- 10/31 ●工場見学(県内企業)(1年)
- 11/10 ●創立50周年記念行事
- 11/10 ●明日へのテクノロジーセミナー(公開講座)
- 12/中旬～ ●整備士資格試験対策講習(2年・自動車技術コース)
- 12/22～1/6 ●冬期休業
- 1/25～1/31 ●後期定期試験(2/8 定期試験成績通知)
- 1/下旬 ●3級電気機器組立て技能検定 試験(2年・電子制御コース)
- 2/下旬 ●2級機械保全技能検定 試験(2年・電子制御コース)
- 2/下旬 ●低圧電気取扱従事者特別教育 講習会(1年)
- 2/7 ●合同企業説明会(1年)
- 3/13 ●卒業式
- 3/14～ ●春季休業
- 3/24 ●二級自動車整備士登録試験(2年・自動車技術コース)

SCHOOL LIFE

学生生活紹介



合同入学式



自動車実習



トムス・セミナー



フォークリフト講習



電子制御コース実習



スバル工場見学



実務実習



進路ガイダンス



自動車技術セミナー



学園祭



卒業式

NEWS
2部昇格!

こんにちは、工短バスケット部です。5月に長野県松本市で開催された第52回北信越大学バスケットボール春季リーグ戦大会で3部優勝、2部昇格を決めました。人数は8人と少ないですが、積極的なディフェンスを武器に、2年生の五十嵐大輝(県央工業出身)君を中心としてよくまとまったチームです。8月の全国短大大会では徐々に力をつけてきた1年生も実力を発揮して連覇を目指します。最後に学校はじめ後援会からのサポートにとても感謝をしています。これからも応援よろしくお願いします。

後援会活動および報告

平成30年度後援会評議員会が6月6日に本学で開催され、前年度決算および本年度活動方針、予算などが了承されました。本年度もこれまでと同様に学生のための課外活動援助や厚生補導活動援助を中心に積極的支援に努めてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。なお、後援会活動状況および新潟工業短期大学と新潟科学技術学園の情報については次のホームページからもご覧いただけます。

〈新潟工業短期大学後援会に関する情報〉 <http://www.niigata-ct.ac.jp/parents/supporters/#p1>

〈新潟工業短期大学の教育に関する情報〉 <http://www.niigata-ct.ac.jp/about/release/>

〈新潟科学技術学園の財務に関する情報〉 <http://www.niigata-inst-st.ac.jp/info/zaimu.html>



学校法人新潟科学技術学園

新潟工業短期大学
NIIGATA COLLEGE OF TECHNOLOGY

編集発行：新潟工業短期大学後援会

〒950-2076 新潟市西区上新米町5-13-7

TEL 025-269-3174(代)

FAX 025-268-1222

URL <http://www.niigata-ct.ac.jp/>